

# 平成30年度見島小中学校 学校教育計画

## (1) 学校訓

「育てよう心」「のばそう力」

## (2) 学校教育目標

豊かな心と健やかな体を持ち 夢の実現に向けて

自ら学び続ける見島っ子の育成

## (3) めざす児童・生徒像

み…認めあい支えあう子（徳）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分や他人のよさに気づく子</li><li>・ 相手の立場に立って考える子</li></ul>
し…心身共に健康な子（体）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分の生活習慣を見直し、自己管理能力を高めようとする子</li><li>・ 目標をもって体力づくりに取り組む子</li></ul>
ま…学びあい高めあう子（知）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 相手の意見をしっかり聞（聴）ける子</li><li>・ 自分の考えがもてる子</li></ul>

## (4) めざす学校像

- 一人ひとりを大切にする学校
- 明るく楽しい学校
- 地域に根ざした信頼される学校
- きれいな学校

## (5) めざす教師像

- 愛情をもって子どもと共に在る教師
- 創意をもって工夫する教師
- 熱意をもって実践する教師
- 誠意をもって協力する教師
- 地域・保護者に信頼される教師

## (6) 学校運営方針

- ① 小・中一貫教育を柱として、人間関係形成力の向上に努め、豊かな心（徳）・健やかな体（体）・確かな学力（知）のバランスのとれた教育の実現に努める。
- ② 子ども一人ひとりを大切にし、柔軟なコミュニケーション能力や表現力の育成など、具体的な実践を通して、成果の語れる学校経営に努める。
- ③ 情報公開（HP、学校だより、学校開放等）を通じて学校を開き、児童生徒・保護者・地域から信頼される学校づくりを推進する。
- ④ コミュニティ・スクールとして、地域を学ぶ・地域に学ぶ教育を推進する。
- ⑤ 縦割り班（給食・清掃活動、ミシマウォーク、運動会、文化祭、おによろずづくり、凧揚げ大会、花壇づくり）で児童生徒の自治力を育成する。

## (7) 本年度の重点目標

### A) 思いやりの心と豊かな感性を育てる教育活動の推進 ～豊かな心～

- ① 道徳時間（人権学習を含む）の充実と指導の工夫改善に努める。
  - 道徳の授業公開をする（公開授業、学級だより等）。

- 道徳の時間に学んだことと日常生活につながりをもたせ、道徳的実践力を高める。
- ② 読書習慣の形成を図り、豊かな心を育む。
  - 児童・生徒の個々の目標を設定し、読書活動を推奨する。
  - 保護者への啓発を図り、家庭での読書活動を奨励する。
  - 図書室の地域開放を推進する。
- ③ ふれあい活動を通して、望ましい人間関係を育てる。
  - **人材バンクを拡充し、地域の方々とのふれあいの時間（「子どもに戻ろう日」、「ふれあいの日」「海に関連した行事」等の充実）を増やす。**
  - **福栄小中学校との交流学习における内容の充実を図る。**
  - 児童生徒の心情を把握する（生活アンケート、教職員の情報交換）とともに、いじめを許さない心を醸成する。
  - **小学生は中学生に対して、「あこがれ・敬う心」をもたせる。中学生は小学生に対して「先輩であることの自尊感情」をもたせる。**

## B) 健康な心身の育成をめざした教育活動の推進 ～健やかな体～

- ① 家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣の確立に努める。
  - 早寝・早起き・朝ごはんの徹底を図る。
  - 家庭と連携し、食育指導の充実を図る。
  - **「ランチミーティング」等、地域の方と給食を摂る時間の工夫を図る。**
- ② たくましい心身の育成に努める。
  - 小学校：昼休みの外遊びや自分に合った運動を奨励し、運動習慣の確立に努める。
  - 中学校：体育や部活動の時間の充実を図る。
  - **合同運動会・ミシマウォーク等でやり抜き、達成した体験を各自にもたせる。**
  - 長座体前屈を測定する「柔軟の日（毎月17日）」の工夫・改善
- ③ 児童生徒の自己実現を支援する教育相談の充実を図る。
  - **児童生徒に志を設定させる。その志とそれを達成するための生活面・学習面の目標を教職員間、保護者と共有し、支援する。**
  - スクールカウンセラーと連携して児童生徒の悩みの解決を図る。
  - アンケートや教育相談を充実させ、児童生徒の問題発見に努める。

## C) 基礎・基本の確実な定着と個に応じた学習指導の充実 ～確かな学力～

- ① 小・中学校が連携した教育活動を構築する。
  - **小中合同による学校行事や教育活動の工夫改善を図る。**
  - 小学校への中学校教員の乗り入れ授業の充実を図る。
  - 授業スタンダードの定着、および工夫改善を図る。
- ② 基礎的・基本的な内容の徹底に努める。
  - スキルタイム等の時間を利用し、個々に応じた基礎学力の向上を図る。
  - 諸検査を利用して児童生徒の実態を踏まえ、学力向上プランの改善・活用をする。
  - **地域による学習支援の充実を図る（「子どもに戻ろうの日」の工夫改善）。**
- ③ 授業実践力を磨き、分かる授業の実現に努める。
  - **気軽に授業公開をし、同僚から学ぶ機会を増やす（互見授業の充実）。**
  - 児童生徒の表現力を高める学習指導を展開する。
  - 地域・保護者の授業研修会への参加を促進させる。